

ひたちなか映画祭

会場：ひたちなか市文化会館 小ホール（ひたちなか市青葉町1-1）

前売チケット

8月4日(日)
午前9時より
電話&WEBにて
予約販売開始

「お終活・再春！人生ラプソディ」

10/4(金) 上映時間 ①10:30~12:28
②14:00~15:58



「人生百年時代」を迎え、人生を謳歌するための新しい「お終活」を提唱し、シニア世代に笑顔と勇気を与えた前作「お終活熟春！人生、百年時代の過ごし方」。

パワーアップしたシリーズ第2弾のテーマは、【再春】。

誰の心の中にもきっとある若かりし頃の夢や憧れ。仕事や子育てが一段落した今だからこそ、これからも続いていく自分の人生を楽しく豊かに過ごすために、再びチャレンジ！

自分自身の生前整理をすることだけでなく、これから的人生も楽しむ。それもまた一つの「終活」なのです。

「カラフルな魔女」

10/5(土) 上映時間 10:30~12:06



「魔女の宅急便」の作者として知られる、児童文学作家・角野栄子の日常に4年にわたって密着したドキュメンタリー。鎌倉の自宅では自分で選んだ「いちご色」の壁や本棚に囲まれ、カラフルなファッションと個性的な眼鏡がトレードマーク。一方、5歳で母を亡くし戦争を経験。結婚後24歳でブラジルに渡り、35歳で作家デビューするなど、波乱万丈な人生を歩みながら、持ち前の冒険心と好奇心で幾多の苦難を乗り越えてきた。

“想像力こそ、人間が持つ一番の魔法”

と語る角野栄子とはどういう人物なのか？88歳のキュートな“魔女”が、老いや衰えさえも逆手にとって今もなお、夢いっぱいな物語を生み出す秘訣とは。

チケット料金（自由席）

各映画前売単券 大人 1,200円 中学生以下 800円

セット券A 10月4日「お終活・再春！」2枚セット券 2,400円「カラフルな魔女」1枚分招待券つき

セット券B 10月5日「石岡タロー」2枚セット券 2,400円「レッド・シューズ」1枚分招待券つき

*セット券はひたちなか市文化会館で100セット限定で販売する前売券です。※未就学児入場不可

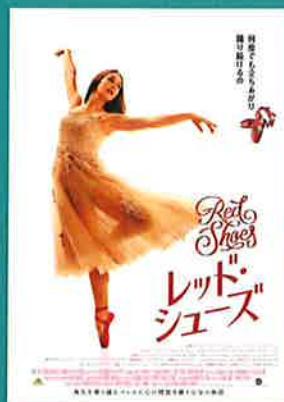
プレイガイド

ひたちなか市文化会館／ザ・ヒロサワ・シティ会館／水戸京成百貨店
東海文化センター／日立シビックセンターチケットカウンター

主催：(公財)ひたちなか市生活・文化・スポーツ公社／茨城映画センター

「RED SHOES / レッド・シューズ」

10/4(金) 上映時間 18:30~20:21



監督はドキュメンタリー出身で本作が長編初監督作品となるジェシー・エイハーンと、「マッドマックス」でメル・ギブソンの妻役を演じたこともあるジョアンヌ・サミュエル。リアルを追求するために、主演に抜擢されたのは世界最大のバレエコンクールで金賞を受賞したジュリエット・ドハーティ。ライバルのグレイシーを演じるのはローザンヌ国際バレエコンクールにわずか15歳で出場したことのあるブリムローズ・カーン。主人公のダンスパートナーと同じくローザンヌ出場経験のあるジョエル・バークが演じる。そのほか、バレエの国際コンクール等で実績のあるダンサーを起用し、バレエシーンはすべて役者自身が踊っている。

「石岡タロー」

石坂アツシ監督 トーキショー 13:40~
10/5(土) 上映時間 14:00~15:41



昭和39年、茨城県石岡市の小学校に、一匹の犬が保護される。犬はタローと名付けられ、誰に教わったわけでもないのに、朝には校門で児童を出迎え、昼には一年生の教室を順番に回り、すっかり学校の人気者に。そんなタローが、小学校から石岡駅までの2キロの道を朝と夕方の1日2回往復するようになる。

歩道橋を渡り、国道を歩き、踏切を渡り、石岡駅の待合室に入ってじっと改札口を見つめ、しばらくすると小学校に戻る。それを1日2回行うのが日課になっていた。

タローは待合室でも駅前の商店街でも多くの人にかわいがられ、タローの駅通いは17年にも及び続いたが、タローは駅である人を待っていたのだった……。

ご予約・お問い合わせ

ひたちなか市文化会館

TEL: 029-275-1122

茨城映画センター

TEL: 029-226-3156



ひたちなか市文化会館内 ひたちなか市青葉町1-1

開館時間 9:00~17:00 月曜休館日(祝日の場合その翌日)

WEB 購入は <https://hitachinaka-culturehall.jp> ▶▶